

令和5年度 第1回 学校運営協議会

日時：令和5年7月21日（金）16:00～17:00

場所：別館ふれあい教室

出席者：大束委員、田中委員、松宮委員、福留委員、石田委員

事務局：服部校長、橋爪教頭、中川事務長、岩田主席、小林首席、
松田先生（教務部長）、和田先生（生徒指導部長）、上野先生（生徒会主担）
田中先生（進路指導部長）、島原先生（1年学年主任）
北郷先生（3年学年主任）、（書記：松岡先生）

欠席者：加木委員、西基先生（保健部長）、奥田先生（2年学年主任）

内容

- 1 校長挨拶
- 2 委員の紹介、事務局の紹介
- 3 会長選出
- 4 学校経営計画について

本年度の取組内容

- ・確かな学力の定着と学びの進化
→読書活動の推進に重点を置き、図書館の利用を促進させる。
- ・豊かな人間性の涵養
→交通マナーの啓発と安全指導。自転車通学におけるヘルメット着用を啓発する。
- ・活力ある学校づくり
→教育活動の積極的な情報発信。広報を充実させ、Web ページによる情報発信を積極的に行う。

5 協議（敬称略）

①ICT の活用について

（委員 C）ICT による授業や評価の可視化が必要とされているが、具体的な取り組みはあるか。

- （事務局）現状手探りの段階。ChromeBook 等の活用と並行しながら進めている。
- （委員 C）他校の好事例を参考にしながら、導入を進めてほしい。

②観点別評価について

（委員 A）観点別評価について、保護者への説明はどのように行っているか。

- （事務局）個別の生徒評価については、「三つの観点により評価する」ことを伝えること中心に考え、生徒評価の詳細を説明することではないと、考えている。
- （委員 A）「主体的に取り組む態度」をどのように評価するのか。家庭学習では子どもに何をさせればいいのか。保護者に伝える工夫をしてほしい。

- （事務局）評価規準は教科で異なるため、すべてを保護者に説明することは難しい。
なお、教員には、初回授業時や単元ごとに生徒に評価規準を説明するよう指示している。
- （事務局）今の時期で一番わかりやすい評価は宿題。宿題への取り組みで、主体性を判断する。

③図書館の利用の促進について

（委員 B）図書館に対する親近感を高めるための、具体的な取り組みはあるか。

- （事務局）普段読書をしない生徒が読んだ本を集める、生徒に書評を書かせる、などを考えている。
- （委員 B）本を読まない生徒に興味をもたせるにはかなり工夫が必要。図書館へ足を踏み入りたい環境づくり、図書館らしくない図書館づくり、などの工夫をされてみてはどうか。

（委員 A）授業で図書館を活用しているか。

- （事務局）常時授業での使用は案内しているが、実績はない。HR や総合的な探究の時間での利用は時々みられる。今は ChromeBook で資料を閲覧できるため、図書館を利用する機会がないのかもしれない。
- （委員 A）どうしても便利な道具に頼ってしまうのは仕方がないが、学校側が何か対策をしなければならない。
- （事務局）この 7 月に七夕のイベントを行った。図書館に入らなければ短冊に願い事が書けないように工夫した。引き続きこのようなイベントを開催したい。

④広報について

（委員 B）卒業生の現在の活躍を載せるなど、生徒が卒業した後まで可視化できるようにしてはどうか。

- （事務局）一応、現在もパンフレットの終わりの方に載せてはいるが、4 期生・5 期生などかなり前のものなので、今年は 12 期生など在校生と年齢が近い卒業生の情報を載せようと考えている。

⑤地域貢献について

（委員 D）部活動での地域交流はあるか。

- （事務局）女子バスケットボール部が地域の中학생と交流している。その他には、中学校への出前授業も行っている。
- （委員 D）出前授業はどのような流れで行われているのか。
- （事務局）中学校からの依頼が中心。

⑥コース選択について

（委員 C）何か戦略的なことをもって選択させているのか。それとも、1 年生が終わった

段階で自然発生的に選択させているのか。1年生の段階で、生徒を刺激しながらコースを決定させているのか。何かそういった趣旨はあるのか。

→（事務局）コース選択については、卒業後の進路を見据えて決定させている。年ごとの生徒のニーズや、生徒自身の将来への気持ちが大きく影響する。そのため、何人の生徒がどのコースを選択するのか、見積もるのは難しい。

⑦通学ヘルメット着用の現状について

（委員 C）自転車運転時におけるヘルメット着用が努力義務化されたが、現状はどうか。

→（事務局）本校は自転車通学の生徒が9割を占めるが、ヘルメット着用者は極僅か。

8月末に寝屋川警察の方を招いて、ヘルメット着用について講義を開く予定。

→（委員 C）雨合羽を引っかけるための場所を作ったと聞いたが、ヘルメットの置き場所も用意してはどうか。

→（事務局）検討させていただく。

（委員 C）教職員のヘルメット着用はどのような状態か。

→（事務局）自宅から直接出勤される教職員は全員ヘルメットを着用している。ただ、駅からレンタル自転車を利用している教職員に関しては、着用が難しい。

⑧遅刻率について

（委員 E）遅刻率が高いが、保護者を巻き込んでの意識改革が必要ではないか。

→（事務局）一般常識については家庭で指導するようにお願いはしているが、中々難しい。

体調不良で簡単に学校を休む生徒が続出している。夜更かしをして寝坊する生徒も多く、生活習慣の改善などは家庭で指導してもらいたい。学校は来て当然の場だ、という意識を高めたい。

（委員 A）保護者も問題を抱えている場合もある。保護者を巻き込むことは難しいとは思いますが、生徒や保護者の意識改革を頑張ってもらいたい。

6 教頭より

前回の協議会で議論した、働き方改革について

- ・今年度から水曜日を一斉退庁日に設定
- ・部活動について、全て任せることのできる外部指導員を3名（ダンス部・書道部・弓道部）を活用
- ・出欠連絡はWeb連絡に変更
- ・英語のネイティブ教員について、T-net から ALT に変更。週5日、常勤に

7 校長謝辞